

花王のアプローチ

社員が公私共に充実した日々を過ごすベースとなるのは「健康」であり、健康な社員と家族があって初めて事業が発展し、社会に貢献できるものと考えています。

2008年に「花王グループ健康宣言」を社内外に発信し、「人財」活用のベースとなる健康支援、健康づくりを積極的に推進し、「健康経営」に取り組んでいます。

社会的課題と花王が提供する価値

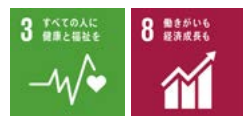
花王では、会社と健康保険組合が協働で社員と家族の健康支援に取り組むことで、健康な社員や家族を増やし、元気で活力ある職場を通して、よりよい企業活動を行なうことをめざしています。

また、生活習慣改善の奨励、積極的な保健指導を行なう等の予防的な取り組みにより、医療費の増加を抑制する努力を継続しています。

快適職場推進の観点から、メリハリのある働き方の推進による長時間労働の抑制、管理者向けのメンタルヘルス研修等に注力しています。

さらに、花王社員の健康づくりに活用しているプログラムは、社外にもサービス提供を行なっており、地域や職場の健康づくりに利用されています。花王での取り組みが、社会・地域へ波及し社会全体の健康寿命の延伸につながることを願っています。

貢献するSDGs



方針

いきいきとすこやかな毎日を
花王グループ健康宣言

私たちは、日々いきいきと健康づくりに取り組み、すこやかで心豊かな生活の実現をはかるとともに、元気で活力ある職場を通し、お客様と共に感動する会社をめざします。

健康意識(ヘルスリテラシー)の高い社員づくりをめざして

花王では「ヘルスリテラシーの高い社員を増やす」ため、健康づくり活動の見える化を進め、PDCAサイクルを回しながら社員の健康度を上げていく「健康経営」に取り組んでいます。

花王の考えるヘルスリテラシーの高い社員とは、以下の通りです。

1. 健康診断の結果を見て自分の生活習慣を見直し改善を図る社員
2. 産業医だけでなく、必要に応じて健康データを見てアドバイスをもらえる医師を持つ社員
3. 自分の心の状況を確認し、必要に応じて相談できる人を持つ社員

「健康づくり」5つの取り組み

会社として最低限行なうべき「健康管理」のみならず、社員が自ら健康を維持増進することを「健康づくり」と呼び、5つの取り組みを中心に実施しています。

1. 生活習慣病
2. メンタルヘルス
3. 禁煙
4. がん
5. 女性の健康

体制

健康づくりマネジメントシステムの「見える化」

「見える化」の取り組みとしては、2009年から前年の健康データ（問診、健診、就業、疾病等）を個人が特定できない形で統計的にまとめて全国18の健康相談室に提供しています。

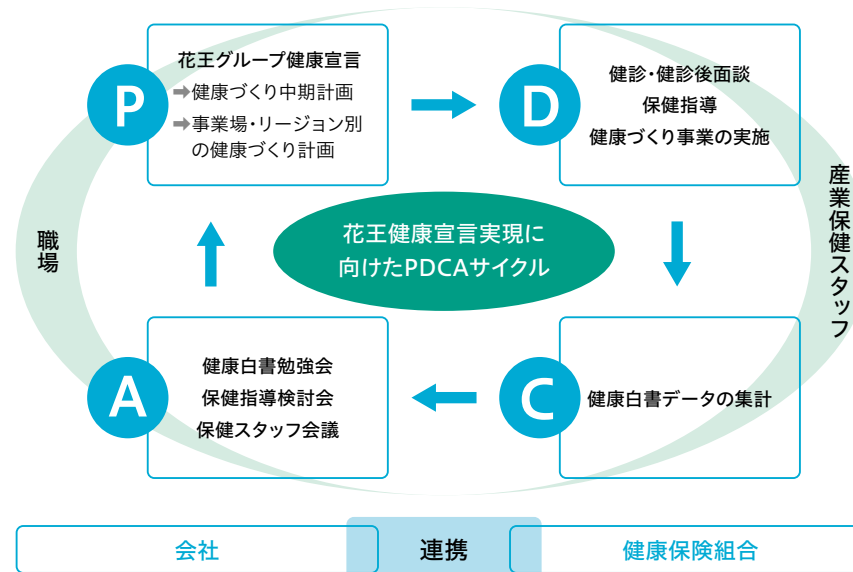
各健康相談室では、担当エリアの健康データをもとに、保健事業計画を立案・実施しています。

担当エリアの人事総務担当者と産業看護職が共に各種健康データを分析し対策立案を学ぶ健康白書勉強会は2009年から毎年開催しています。

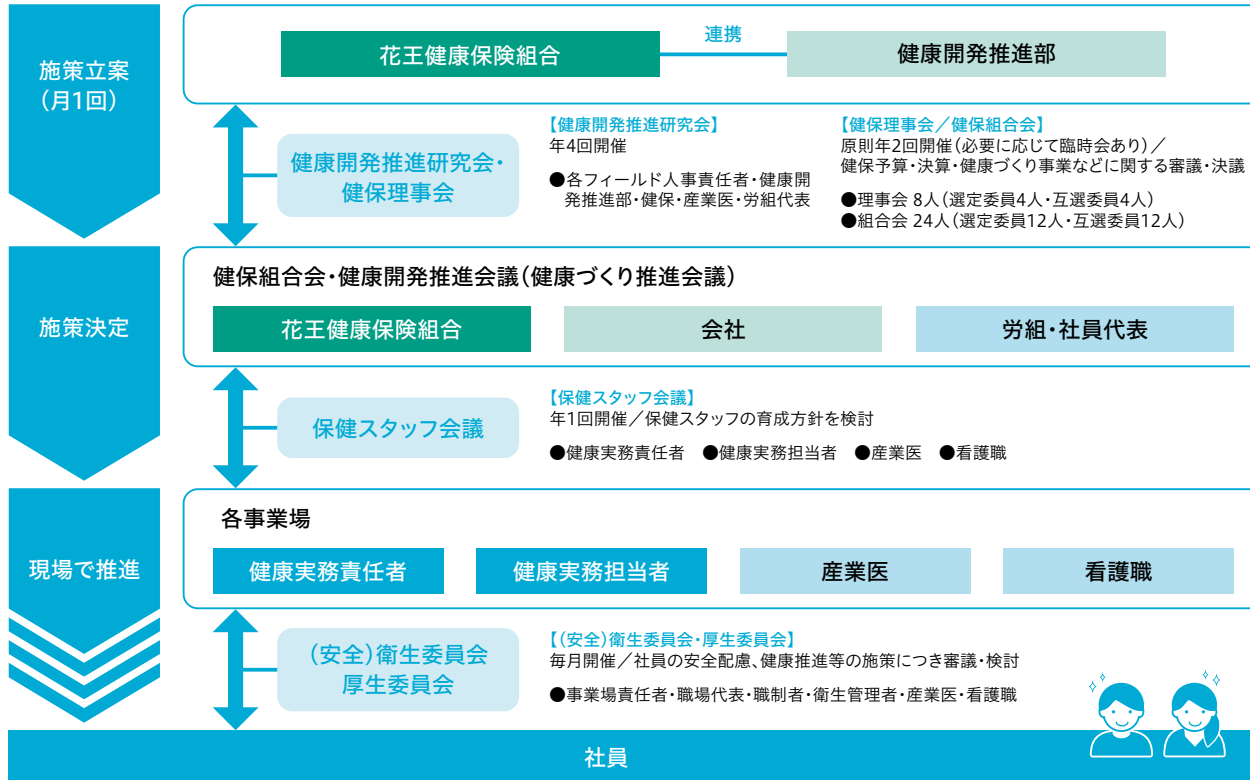
健康づくり推進体制の「組織化」

健康づくり施策の立案は、会社と健康保険組合が一体となっていない、月に一度、定期的なミーティングで議論しています。主要施策については、社員代表も交えた健保組合会議員等やワーキンググループで検討したうえで、全社の健康づくり推進会議で施策を決定します。推進施策は各事業場・支社の「健康実務責任者」「健康実務担当者」が、産業医・看護職と共に取り組んでいます。

健康づくりマネジメントシステム



健康づくり推進体制



教育と浸透

社員に向けて

- ・「花王グループ健康宣言」を全社員に配布するとともに、社長より説示等で「花王グループの成長には健康であることがベースであり、花王グループ全体として健康経営を推進する」「社長自らも健康目標を立てて実行する。社員一人ひとりも今年の健康目標を立てて、実行してほしい」等、折に触れ、健康経営に関し言及し、浸透を図っています。
- ・「健康づくり」の5つの取り組みを中心に社内さまざまなキャンペーン、セミナー、各種健康増進活動を展開しています。

全社健康推進活動展開

活動内容	2017年実績
健康宣言	15,704人 (うち新規445人)参加
春のウォーキングキャンペーン	4,590人参加(家族含む)
禁煙マラソンキャンペーン	273人参加
機関紙やポスター等による健康情報の提供	年2回約28,169人対象

各事業所での健康推進活動展開 (イベント型／セミナー型／キャンペーン型を企画)

活動内容	2017年実績
生活習慣病関連:運動・栄養セミナー、体力測定、健康フェア、産業医講話等	136回開催、 のべ16,480人参加
女性の健康:女性セミナー、更年期セミナー、30歳節目研修、食改善セミナー	19回開催、 のべ2,863人参加
メンタルヘルス:メンタルヘルス研修、BA(美容販売員)・新入社員・昇格者セミナーにおけるメンタルヘルス研修	11回開催、 のべ1,769人参加

保健スタッフの育成

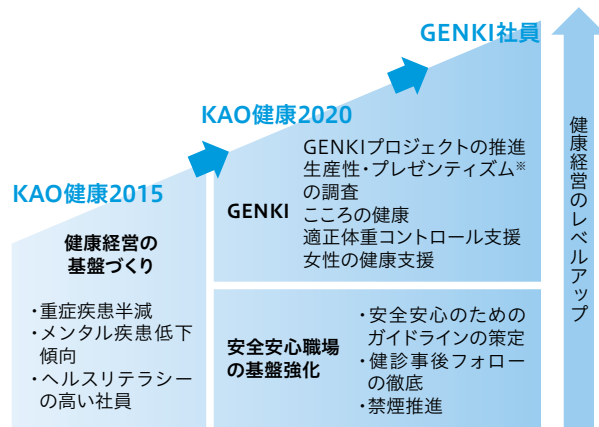
- ・年に一度、健康実務責任者・担当者と産業医・看護職が集まる「保健スタッフ会議」を開催し、方針に対する意思統一と情報交換を図ります。
- ・健康データの見方や産業保健計画の立案方法を学ぶ「健康白書勉強会」、看護職の保健指導力向上を目的とした「保健指導検討会」等を実施しています。

中長期目標と実績

KAO 健康2020

2017年、花王は健康に関する中期計画「KAO 健康2020」を策定しました。健康経営のさらなるレベルアップ、「GENKI 社員」の育成をめざします。

KAO健康2020



変化を先導する元気な社員づくりと安全安心職場の基盤強化で、健康経営のさらなるレベルアップをめざす

※ プレゼンティズム
何らかの疾患や症状を抱えながら出勤し、業務遂行能力や労働生産性が低下している状態

2017年の実績

社員の健康づくり推進状況

項目	2017年実績
定期健診受診率	100%
健診有所見者の再検査受診率	84%
朝食を週3回以上食べる社員	24.3%
運動を週1回以上する社員	42.4%
睡眠で十分な休息がとれている社員	64.0%
たばこを吸わない社員	75.8%
メタボリックシンドローム該当者予備軍	男性30.9%、女性6.4% (2016年 男性31%、女性6%)
特定保健指導対象者	男性19.1%、女性6.9% (2016年 男性19.0%、女性6.9%)
特定保健指導実施率	60.5% (2016年)

ステークホルダーとの協働

健康サービスの社会・地域への波及

花王で開発した効果的な健康サービスを外部の職域や地域にも提供し、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)やロコモティブシンドローム(運動器症候群)などの社会的健康課題の予防に役立てていただいています。

たとえば、内臓脂肪を測り生活習慣改善への気づきを提供するサービスを、地域・職域を通じてご提供しています。2017年はのべ約100カ所、13,000人の方にご利用いただきました。

- ・内臓脂肪みえる化ステーション(日本肥満症予防協会と連携した内臓脂肪測定会):
社外27回 約5,600人参加
- ・生活習慣測定会:
社外55カ所、社内25カ所、約7,100人参加

また、しっかり食べて内臓脂肪をためない食事法「スマート和食®」の普及にも取り組んでいます。

- ・保健師・栄養士など専門職向けの講習会:
社外5回130人参加
- ・社員食堂でのスマート和食®昼食の提供:
社内8カ所、社外2カ所

身体活動とコミュニケーションの向上につながるプログラムでは、花王オリジナルの歩行計「ホコタッチ」の配布や、歩行の「質」を詳細に分析する「歩行基礎力測定会」を実施しています。

- ・ホコタッチ:
契約先13カ所、スポット数260カ所(約14,000人参加)
- ・歩行基礎力測定会(社内2回、約120人参加)

他企業健保との情報交換

他企業健保との情報交換としては、一般社団法人保険者機能を推進する会主催の会議・研究会にて、参加健保間での情報交換を実施し、各健保の抱える課題の抽出、検討、改善事例の紹介などの意見交換を、参加健保間で行なっています。その成果は、年1回の保険者機能推進全国大会において発表・報告しています。

健康管理支援ツールWeb-QUPiO®利用者の健康度改善状況

Web-QUPiO利用の有無(他社・花王を含む)で肥満度の変化を比較したところ、体重や生活習慣改善の取り組みなどを記録している利用者は、未ログイン者よりも優位に肥満度の減少が見られ、特にBMI \geq 25(肥満群)ではその差が顕著に表れています。

※ QUPiO
100万人分に及ぶ経年の健診データの集積と、東京大学との共同研究で得られた知見をもとに、健康増進・生活習慣病予防をサポートするためのプログラム。

具体的な取り組み

GENKIプロジェクトの推進

中期経営計画「K20」推進プロジェクトの一つとして「社員と家族の健康維持」プロジェクト(通称「GENKIプロジェクト」)を開始しました。花王グループのヘルシアの知見や技術・製品を健康ソリューションとして社員やその家族に提供しています。

イベント活動

スマート和食*

「スマート和食*」は、花王が研究した内臓脂肪をためにくい食事法です。食事の量ではなく、①たんぱく質/脂質の比、②食物繊維/糖質の比、③オメガ3/脂質の比という3つのポイント(質)にこだわることで、ごはんを楽しくしっかり食べながら、内臓脂肪がたまりにくい食事ができるというものです。

- ・「スマート和食*」を国内7事業場の食堂でお昼ご飯のメニューとして提供
- ・スマート和食*マスター講座を産業医・看護職が受講。37名がスマート和食*マスターに。今後社員向けの保健指導や健康教育に活用
- ・冊子「スマート和食*」を1,083名に提供。社員にもスマート和食*メソッドを知ってもらおう活動を実施



「スマート和食*」を提供している社員食堂

生活習慣測定会

自分の内臓脂肪面積を知り、今後の生活習慣改善に役立てています。

- ・国内22事業場1,108名が生活習慣測定会に参加

歩行測定会・ホコタッチ

歩き方を分析して「歩行年齢」や将来の「生活機能リスク」を知ることができる歩行測定会や、日々の生活習慣改善を促す花王オリジナルの歩行計「ホコタッチ」の貸し出しを行なっています。

- ・国内4事業場で歩行測定会を実施。890名が歩行測定に参加
- ・ホコタッチを30事業場4,135名に貸し出し。継続利用者は2,773名で、うち42%が歩数も歩行スピードも多いAランクをマークした

ヘルシアを用いた健康イベント

国内事業場で運動や健康にまつわるイベント参加を推奨しています。イベント参加者にはヘルシアを1本進呈しています。

- ・70事業場、70イベントで6,699名が参加

キャンペーン・広報活動

健康的な職場風土づくりのため、健康にまつわる全社キャンペーンを推進しています。

減量チャレンジ

2月1日～3月14日の42日間で2kgの減量に取り組むキャンペーン(BMI19未満対象外)です。

- ・1,702名参加(参加率7.6%)、マイナス2kg達成者は506名(29.7%)
- ・キャンペーンと同時に冊子「スマート和食*」を希望者872名に配布。スマート和食*生活の実践推奨

ヘルシアウォーキングチャレンジ

4月1日～6月30日までの91日間、1日1本のヘルシアを飲みながらウォーキングを実践するキャンペーンです。

- ・3,593名参加(参加率13.2%)、体重減少者29.5%、歩くことが習慣化した者84.5%

あなたの減量チャレンジ

(2016年の特定保健指導対象者限定)

健診2カ月前から42日間の減量に取り組むキャンペーンです。

- ・計5回実施、439名参加、減量効果のあった者59名

女性の健康支援

女性特有の疾患の予防や、悩みを相談できるプログラムを用意しています。

- ・「SUKOYAKA Women's News」を10月に全女性従業員に向け配信
- ・女性の健康相談窓口を開設
- ・不定愁訴対策として健康相談室で症状に応じたヘルスケア関連製品を提供

生産性・プレゼンティズム調査

- ・社員のパフォーマンス発揮度とプレゼンティズム要因調査を実施。
- 生産性の発揮を阻害するプレゼンティズム要因を追求し、対応策を検討する。

メンタルヘルスケア(こころの健康)

より予防的なメンタルヘルス対策推進のため、ストレスチェックを実施し、事後フォローや面談勧奨に努めています。

また、ストレスチェックの集団分析を踏まえた職場環境改善の取り組みにも着手しました。

複数の相談窓口(外部EAP(従業員支援プログラム)、社内カウンセラー、各事業場・支社の健康相談室等)により、さまざまな相談に対応しています。管理者向けやセルフケア等の研修も計画的に実施しています。

全社メンタルヘルスケア活動展開

項目	2017年実績
ストレスチェック	97.4%が受診
高ストレス者率	0.9%減少
ストレスチェック集団分析指標見方研修	3回開催
管理者向け研修	16回開催
セルフケア研修	7回開催
外部EAPの利用率(件数/対象社員)	5.6%
社内カウンセラーによるカウンセリング(キャリア面談中心)	11,008人

安全安心職場の基盤強化

健康経営の基盤を支える安全安心職場を実現するための取り組みを推進しています。

禁煙推進

2016年5月に発信された花王グループ「禁煙への取り組み」方針に基づき、2018年1月から就業時間内禁煙を推進しています。

- ・社員の声も取り入れて就業時間内禁煙を実現するため、各事業場で分科会を開催
- ・就業時間内禁煙に向けた講演会を開催
- ・花王グループ禁煙マラソンを2017年1月と5月に実施。計273人参加(うち禁煙達成者114人)(参加者前年比112%増)
- ・花王健康保険組合より禁煙達成者への禁煙治療費用補助を47人に対して実施
- ・イントラネットで禁煙動画5回配信
- ・禁煙ポスター8種類を喫煙所に掲示
- ・各事業場にて禁煙相談会を開催



就業時間内禁煙告知ポスター